

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和 6年 7月31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大津市御陵町3番1号
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
大津市 大津市公営企業管理者 南堀 弘

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	大津市 大津市公営企業管理者 南堀 弘
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大津市御陵町3番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	大津終末処理場									
事業所の所在地	大津市由美浜1番1号									
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	6	3	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 下水道処理施設維持管理業				
事業の概要	下水(汚水)を浄化し、琵琶湖へ放流している。									
従業員の数	43			人	作業時間		24		時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者									
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者									
	☐ 任意提出事業者									
主要な設備	ボイラ	台		熱源設備		台		照明設備	287 台	
	コンプレッサ	2 台		空気調和設備		20 台		その他	ブロフ 4台 揚水ポンプ 8台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	4	年度	報告対象年度	5	年度
	終了 年度	8	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大津市企業局は、大津市が行政主体として担う業務のうち地方公営企業として水道、下水道及びガス事業を行っているが、その経営は、常に企業としての経済性を発揮しながら合わせて公共の福祉を増進するようにも運営しなければならないことから、その事務及び事業の執行に際し、率先して環境に配慮した行動に努め、環境への負荷低減を図っていかねばならない。

ついで、事務及び事業の執行にあたり、温室効果ガスやばい煙の排出抑制、省エネルギーの推進、ごみの減量、環境物品等の購入に取り組むことにより、地球温暖化対策や大気環境への負荷の低減、ごみの減量を推進し、事業者として低炭素社会及び循環型社会の形成に寄与するものとする。

1 温室効果ガスの排出抑制に対する取組

(1) 日常業務に対する省エネルギー

- ① 電気、ガスの効率的利用の推進
- ② 燃料の使用量の削減
- ③ 公用車の効率的利用の推進

(2) 日常業務におけるごみの減量等

- ① ごみの減量とリサイクル
- ② 用紙類の使用量の削減
- ③ グリーン購入の推進
- ④ 水の効率的利用の推進

(3) 設備導入、建築物の管理、公共工事の実施等における取組

- ① 計画、設計段階
- ② 工事施行段階
- ③ 維持管理段階

2 ばい煙の排出抑制に対する取組

3 有害大気汚染物質使用量抑制に対する取組

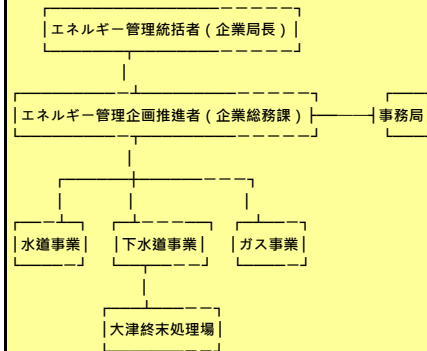
4 職員に対する研修等

2 取組の推進体制

【大津市役所全体の推進体制】

- ・大津市環境基本計画(第3次)(計画期間:令和4年度から令和12年度)
 - ・大津市再生可能エネルギー等利活用方針
 - ・大津市役所グリーン購入推進基本方針
 - ・環境オームス(独自の環境マネジメントシステム)
- 実施責任者:所属長・環境オームス推進員、内部監査:環境チェック員

【大津市企業局の推進体制】

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

(大津市役所全体)

環境の負荷の低減については、平成11年度から計画的に積極的な取組を行っています。

- 電気使用量の令和2年度実績は、平成26年度実績比で10.1%削減しました。
- 都市ガス使用量の令和2年度実績は、平成26年度実績比で25.7%削減しました。
- ガソリン及び軽油の使用量の令和2年度実績は、平成26年度実績比で36.0%削減しました。
- 温室効果ガス排出量の令和2年度実績は、平成26年度実績比で27.7%削減しました。
- 上水使用量の令和2年度実績は、平成26年度実績比で28.5%削減しました。
- 用紙購入量の令和2年度実績は、平成26年度実績比で4.2%削減しました。

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	水量、水質に合わせた効率的な水処理を行う。	R4～R8	継続実施中
2	設備導入	LED、高効率モータ等省エネルギー機器の導入に努める。	R4～R8	継続実施中
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
エネルギー消費原単位を中長期的に見て年率1%以上削減することを目標とする。 *エネルギー消費原単位＝使用原油換算量[kL/年] / (実流入水量＋合流湯水量)[千m ³ /年]		令和5年度は、令和4年度と比較してエネルギー消費原単位が約1.7%増加した。 流入水質状況から送風機電力量(103%)及びⅡ系水処理機器電力量(104.8%)が増加したことが原因と考えられる。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の 実績	実績報告				
			R4年度	R5年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,950	1,844	1,701			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	4,161	3,466	3,883			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,821	2,215	2,747			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	1,340	1,251	1,136			
CH ₄	t-CO ₂	423	395	453			
N ₂ O	t-CO ₂	917	856	683			
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.06771	#####	#####			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

【4(1)(2)で行が足りない場合はこちらに記入してください】

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
6				
7				
8				
9				
10				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
4				
5				
6				

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1	記載なし(予定なし)		特になし
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	記載なし(予定なし)
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			R4年度	R5年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0			
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0			

(第4面)

6 事業活動を通じて他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組
(1) 取組の内容およびその実績

	取組の内容等	取組の実施状況	
		CO ₂ 削減貢献量	
			t-CO2

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方
目標および目標設定の考え方

	このページは記載省略	

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠
目標の進捗に対する自己評価

	CO ₂ 削減貢献量の算出根拠	

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告			
			R4年度	R5年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	4,075	3,555	4,447		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,735	2,304	3,311		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.351	0.311	0.434		
特記事項						

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告			
			()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂					
クレジットの購入	t-CO ₂					
特記事項						

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告			
			R4年度	R5年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	3	3	3		
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0	0		
特記事項						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	リデュース、リユース、リサイクルの意識を啓発し、より一層の環境負荷低減を図る。	R4～R8	継続実施中
2	グリーン購入	取組みの浸透に努め、長く使えるものやトータルのごみの発生を抑えるなど意識の向上を図る。	R4～R8	継続実施中
3				
4				
5				